

口頭発表のプレゼンテーション資料について〔注意喚起〕

プレゼンテーション資料のファイル容量が大きすぎる、あるいはCloud上に保存したファイルにアクセスしながらWebexで発表するなど、PCや通信環境に負荷がかかりすぎると、“フリーズしたような現象”（スライド送りできない／非常に遅い）が起こります。

※テスト環境では動作しても、多くの聴講者アクセスする“発表本番”だけ起こることも多いです。
口頭発表の方は次の点にご留意ください。

1) プレゼンテーション資料は必ずご自身のPCに保存して発表してください。

※Cloud上に保存したファイルで発表するとトラブルが起こりやすいようです。

2) PDFに変換した資料など、“トラブル時に使うファイル容量の小さい資料”を念のためご用意ください。

[ご参考]

- ・ 極端に高解像度の図・動画を多用せず、適切な範囲内で解像度を落とした図・動画の使用をお勧めします。
- ・ Keynoteの資料はPowerPointに変換するとファイル容量が小さくなるようです。
- ・ 発表中に動作が遅くなる場合は「カメラOFF」にすると、通信環境がいくぶん改善されるようです。

通信・発表トラブルによる講演の遅延は学会スケジュールに多大な影響を及ぼしますので、ご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。